

平成 17 年 11 月 18 日

各 位

会 社 名 中越パルプ工業株式会社
代 表 者 代表取締役社長 長岡剣太郎
(コード番号 3 8 7 7、東証・大証各 1 部)
問 合 せ 先 常務取締役 原田正文
電 話 0 3 - 3 5 4 4 - 1 5 2 2

収益改善へ向けての取り組みについて

現在の紙パルプ業界の経営環境は、中国を中心とした東アジアマーケットの拡大による原燃料調達面での競争激化と価格の大幅高騰、国内需要の大きな伸びが期待できないなかで輸入紙の拡大や各社の経営姿勢の転換等により市況が弱含みで推移するなど、懸念材料が目白押しであります。さらに今後、国内メーカーによる設備の増強も計画されており、飽和状態のなかでのシェア競争が益々激化することが予想されます。

こうした状況下において当社は、自助努力によりこの厳しい経営環境を乗り切っていくため、以下に掲げる「収益倍増計画」の策定に着手し、全グループを挙げて 2007 年度末までに、人員削減を始め、新たな発想で聖域なきコスト削減を図り、確固たる収益基盤を構築する取り組みを推進いたします。

<取り組みの骨子>

総額人件費の 1 5 %削減	25 億円
省エネ、効率向上他工場コスト削減	20 億円
設備投資効果の発現	5 億円
原材料・資材調達コストの削減	5 億円
物流コスト削減他	1 0 億円
合 計	6 5 億円

以 上